

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和7年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわトラストみどり財団					
設立年月日	昭和60年6月1日			代表者名	理事長 引地 孝一	
所在地	横浜市西区岡野 2-12-20			電話番号	045-412-2525	
基本財産等	332,000,000	円	県出資額	300,000,000	円	県出資率 90.4 %

2 法人運営における現状の課題（法人）

基本財産の運用益は低金利の中、長期債券（20年債、30年債）を購入したため、厳しい状況が続いている。

また、県からの補助金が低迷している中、当財団の進める県民との協働による身近な緑地保全、森林の整備や地域緑化の推進をするため自主財源確保に取り組む必要があることから、引き続き新規会員の獲得に努めるほかに、会員等に緑地保全への支援会費及び寄附金への協力を、より一層積極的に呼び掛ける。緑の募金收入は、引き続き企業、学校等への協力要請を行う。

3 法人の県主導第三セクターとしての検証（所管課）

(1) 公益性について

県民と協働してかながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を実施することにより自然環境、歴史的環境の保全及び緑化の推進を図り、もってみどり豊かなかながわの創造に寄与するなど公益性の高い事業を実施している。

(2) 県行政との関連性について

県の「かながわトラストみどり基金」及び「かながわ森林基金」の運用益を財源として県から財政的支援を行っており、県と連携して事業を実施している。

(3) 民間代替性について

かながわのナショナル・トラスト運動の推進母体として、普及啓発事業、地域緑化活動事業、緑地保全事業等を行っており、県補助金や寄附金、財団会員の支援等を財源にしていることや、ボランティアの協力を受けて活動しているため、民間では実施が難しい。

4 経営改善目標の達成に向けた取組実績等（法人）

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
1	情報発信の強化 (ホームページのアクセス件数)	件/月	16,481 (15,000)	15,398 (15,100)	17,113 (15,100)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
	ホームページやSNSの情報発信に加え、非常利団体向け無料広告サービスを活用したところ、アクセス件数が目標に達したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
	みどりの実践団体数 (財団事業に参加する団体数)	団体	219 (215)	222 (220)	223 (220)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
3	緑の募金、みどりのトラスト会員の募集、財団主催イベントの周知、研修会への参加及び団体の情報交換や連携の促進に努めたところ、目標を上回る参加を得たため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
	保存契約緑地拡大面積	m ²	319 (500)	515 (500)	0 (500)			B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
4	保存契約緑地の拡大に努め、契約締結の見込みはあったものの、地権者都合により年度内の締結に至らなかつた。ただし今後、締結の見込みはあることから、B評価とした。						土地所有者と保存契約の交渉を努めるとともに、市町と連携し新たな保存契約緑地の拡大に取り組む。	
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
	森林づくりボランティア参加者	人	5,725 (10,500)	10,529 (10,500)	7,204 (10,500)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
5	目標未達は、天候不順によるもので、参加の申込者数は、目標の参加人数に達したため、A評価とした。						雨天・荒天に加え、熱中症警戒アラートなど近年の温暖化の状況も踏まえ、活動時期の変更などを検討しつつ、目標値の再設定も必要と考える。	
①	備考 実施回数：令和5年度が112回、令和6年度が93回実施 ※天候不順とは、雨天・荒天に加え、近年の熱中症警戒アラートなど様々な要因を含んでいる。							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
	森林インストラクター養成数（延べ） (1期〔2年間〕35名)	人	563 (565)	563 (565)	590 (600)			B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
5	1期〔2年間〕の2年次は、27人の認定となり、目標を下回つたためB評価とした。						今後の養成者の募集人員広報等を見直していく。	
②	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
1	会費収入	千円	16,473 (16,800)	17,014 (16,900)	16,485 (17,000)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
	会員数が伸び悩む中、会費収入を確保するため、SDGsに取り組む県内の企業や団体等への広報に努めた結果、目標値の約97%に達したため、A評価とした。						会費納入率を高めるため、納付書による会費振込から口座引落への登録変更を促す。また、企業や団体への広報及びトラスト緑地保全支援会員への追加登録を呼びかける。	
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
2	寄附金収入 (緑の募金を除く)	千円	4,694 (4,000)	6,180 (4,000)	3,279 (4,000)			B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
	機関誌ミドリ等による広報に努めたが、目標未達のため、B評価とした。						新たな返礼品による寄附の呼びかけや折込チラシ等を活用し、新規顧客層やSDGsに取り組んでいる法人等への広報に努める。	
	備考 個人 230件 団体 28件							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度			6年度自己評価
3	緑の募金収入	千円	27,194 (20,000)	20,987 (20,100)	23,929 (20,200)			A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）						今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）	
	企業募金の拡大により、目標を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

5 財務状況（法人）

(単位:千円、%)

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
貸 借 対 照 表	資産	572,431	576,792	585,725	1.5	
	流動資産	37,052	37,776	32,013	△ 15.3	現金預金の減
	固定資産	535,378	539,015	553,712	2.7	
	負債	43,041	44,710	53,443	19.5	
	流動負債	10,883	10,774	15,901	47.6	未払金の増
	固定負債	32,158	33,936	37,543	10.6	
	正味財産	529,390	532,081	532,282	0.0	
	指定正味財産	419,815	421,679	422,269	0.1	
	一般正味財産	109,575	110,402	110,012	△ 0.4	

区分		4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
正 味 財 産 増 減 計 算 書	経常収益	172,048	174,909	188,456	7.7	
	経常費用	171,658	174,082	188,845	8.5	
	事業費	160,833	163,441	177,802	8.8	
	うち人件費	70,480	71,601	74,674	4.3	
	管理費	10,825	10,641	11,043	3.8	
	うち人件費	4,015	4,099	4,122	0.6	
	評価損益等計					
	評価損益等調整前当期経常増減額	390	828	△390		
	当期経常増減額	390	828	△390		
	経常外収益	0	0	0	0.0	
	経常外費用	0	0	0	0.0	
	当期経常外増減額	△0	0	0		
	当期一般正味財産増減額	390	828	△390		
	当期指定正味財産増減額	5,752	1,864	590		
正味財産期末残高		529,390	532,081	532,282	0.0	

(単位:千円、%)

区分	4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
県の財政的支援※	補助金	113,200	115,020	121,130	5.3
	交付金				なし
	負担金				なし
	貸付金				なし
	利子補給				なし
	合計	113,200	115,020	121,130	5.3
県の財政的支援の割合 (合計/経常収益)		65.8	65.8	64.3	△ 2.3

※第三セクター等の指導、調整等に関する要綱に基づく支援区分

(単位:千円、%)

区分	4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
参考	委託料(指定管理料含む)				なし
	① 合計(県の財政的支援+委託料)				
	県の財政的関与の割合 (合計(県の財政的支援+委託料)/経常収益)				
	② 債務保証(残高)				なし
	損失補償(残高)				なし

(単位:%)

指標	計算式	4年度	5年度	6年度	増減率 (前年度比)	備考
正味財産比率	正味財産/(負債+正味財産)	92.5	92.2	90.9	△ 1.5	
流動比率	流動資産/流動負債	340.5	350.6	201.3	△ 42.6	
人件費比率	人件費/経常費用	43.4	43.5	41.7	△ 4.0	
管理費比率	管理費/経常費用	6.3	6.1	5.8	△ 4.3	

6 取組実績等についての総括（法人）

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、普及啓発活動を通じてネットワークの拡大を図りながら、寄附金・緑の募金や会員の獲得による資金調達の強化に取り組んできた。また、SDGsに取り組む県内の企業や団体等への広報に努めたが、会員数及び会費収入が、目標額を下回ったため、引き続き広報の拡大や退会者を減らすための情報発信を展開していく。更に、自主財源の拡大を図るため、財團事業や法人運営への寄附の増強及び企業等からの事業受託の継続に努めていく。

7 取組実績等についての総括（所管課）

取組実績等については、一部の項目では目標を達成できなかったものの、目標達成した項目である「情報発信力の強化」「トラスト緑地保全支援会員」「みどりの実践団体数」「みどりの募金収入」は広報や普及啓発活動に努めた結果、前年度を上回る実績を挙げている。

特に、「情報発信力の強化」については、これまでの取組に加え、非営利団体向け無料広告サービスの活用や公式ウェブサイトの整備を行ったことで足元では最大のアクセス数となったことや「トラスト緑地保全支援会員」については、トラスト会員新規入会者数が伸び悩む中、広報活動等に努め、前年度を大きく上回る人数となったことは、評価に値する。

また、「保存契約緑地拡大面積」や「森林づくりボランティア参加者」が目標達成をできなかったことについては、交渉先の個別の事情であったり、天候不順によるものであるため、やむを得ないと考える。

かながわのナショナル・トラスト運動の一層の普及啓発及び令和7年度からの経営改善目標の達成に向けて、所管課としても引き続き協力していく。

8 第三セクター等改革推進会議の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
B	今後の目標に対してどのように取り組むかを来年度に改めて教えてほしい。